

提出者	戸塚 花子
連絡先	〇〇〇-〇〇〇〇

受付者	記入例	※事務局記入欄
局長		

令和7年度 戸塚区社協ふれあい助成金完了報告書

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会会長 様

令和7年4月10日

次のとおり事業が完了いたしましたので報告いたします。

申請団体	※連絡担当者に「〇」印をつけてください	ふりがな	とつかぐるーぶ			
		団体名	戸塚グループ			
	()	ふりがな	とつか まもる	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 戸塚区～	
		代表者	戸塚 守		電話	〇〇〇-〇〇〇〇 FAX
		メール	〇〇〇@totsukashakyo.jp			
	()	ふりがな	とつか はなこ	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 戸塚区～	
		副代表者	戸塚 花子		電話	〇〇〇-〇〇〇〇 FAX
		メール	〇〇〇@totsukashakyo.jp			
	()	ふりがな	とつか たけし	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 戸塚区～	
		会計担当者	戸塚 武		電話	〇〇〇-〇〇〇〇 FAX
		メール	〇〇〇@totsukashakyo.jp			

助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 要援護者支援区分 <input type="checkbox"/> 障害児者支援区分 <input type="checkbox"/> 福祉のまちづくり区分 <input type="checkbox"/> 健康増進区分	助成決定金額	80,000	円
------	---	--------	--------	---

区分	申請事業	回数	人数
要援護者支援	<input checked="" type="checkbox"/> 集いの場活動	12 回	21 人
	<input type="checkbox"/> 家事・生活支援活動	回	人
	<input type="checkbox"/> 配食活動	回	人
	<input type="checkbox"/> 送迎活動	回	人
障害児者支援	<input type="checkbox"/> 障害児者支援活動	回	人
	<input type="checkbox"/> 当事者活動	回	人
	<input type="checkbox"/> 宿泊・日帰りハイク活動	回	人
	<input type="checkbox"/> 視覚聴覚障害者支援活動	回	人
<input type="checkbox"/> 福祉のまちづくり区分		回	人
<input type="checkbox"/> 健康増進区分		回	人
<input checked="" type="checkbox"/> 戸塚区社協に正会員として加入している団体			

備考欄 (事務局) ※次年度申請 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ()	受付印
---	-----

収支報告

団体名： 戸塚グループ

申請事業全体の決算額を記入してください。（助成対象経費以外経費についても記入してください。）（単位：円）

科 目		予 算 額	決 算 額	説 明（決算額内訳・算出根拠）		
収 入	① 戸塚区社協ふれあい助成金	80,000	80,000	戸塚区社協ふれあい助成金額（千円単位）		
	自主財源	② サービス利用者の利用料 障害当事者の会費	24,000	25,600	利用料@100×256名	
		③ 担い手・ボランティアの会費等				
		④ 他からの助成金・補助金	10,000	10,000	<input type="checkbox"/> 子ども未来支援費 <input checked="" type="checkbox"/> 戸塚区社協フレンズ助成金 会員区分	
		⑤ その他（ ）				
		⑥ 自主財源計 （②+③+④+⑤）	34,000	35,600	⑥が⑦に占める割合 30 % <input type="checkbox"/> ⑥÷⑦≥20%	
	⑦ 小計（①+⑥）	114,000	115,600	※小数点第1位切捨て		
そ の 他	⑧ 前年度繰越金	10,000	10,000	⑧が⑩に占める割合 8 % <input type="checkbox"/> ⑧÷⑩≤25%		
	⑨ 前年度積立金			※小数点第1位切上		
⑩ 合計（⑦+⑧+⑨）		124,000	125,600			
科 目		予 算 額	予 算 額 の うち 助 成 金 を 充 てる 金 額	決 算 額	説 明（決算額の内訳・算出根拠）	
支 出	助成対象経費	⑪ 活動費	25,000	25,000	25,000	ボランティア費用弁償@5,000×5名
		⑫ 活動場所の維持費				
		⑬ 物品購入費 （除：食材費・飲食経費）	13,280	13,280	13,880	コピー用紙、画用紙、絵の具等@13,880
		⑭ 謝金	30,000	30,000	30,000	レクリエーション講師@10,000×3名
		⑮ 通信運搬費				
		⑯ 車両経費 （事業に関わる車両に限る）				
		⑰ 保険料	6,720	6,720	6,720	行事用保険@28×20名×12回
		⑱ 印刷費	5,000	5,000	6,000	コピー代@10×50枚×12回
		⑲ コーディネーター人件費				
		⑳ 拠点整備と改修費				
小 計㉑（⑪～⑳）		80,000	80,000	81,600		
助成対象外経費	㉒ その他（食材費）	24,000		24,000	お茶代@2,000×12回	
	㉓ その他（会費）	5,000		5,000	戸塚区社協一般会費@5,000	
	㉔ 次年度積立金				積立年数：（ ）年目／（ ）年間 購入物品：	
	㉕ 次年度繰越金	15,000		15,000		
合 計㉖（㉑～㉕）		124,000	80,000	125,600		

* 収入・支出の合計額は同額になります。説明欄は、内訳・算出根拠も必ず詳しくご記入ください。

事業報告

団体名：戸塚グループ

令和7年4月～令和8年3月の申請事業における年間実施報告について該当する項目にご記入ください。

月	日時	実施回数※	参加者数※	会場	事業内容
			※集いの場/配食/障害児者支援区分/福祉のまちづくり区分/健康増進区分 は記入下さい		
4	10 10:00~12:00	1	20	フレンズ戸塚	歌、おしゃべり
5	10 10:00~12:00	1	21	フレンズ戸塚	絵画、おしゃべり
6	10 10:00~12:00	1	22	フレンズ戸塚	軽体操、おしゃべり
7	10 10:00~12:00	1	21	フレンズ戸塚	歌、おしゃべり
8	10 10:00~12:00	1	22	フレンズ戸塚	絵画、おしゃべり
9	10 10:00~12:00	1	20	フレンズ戸塚	軽体操、おしゃべり
10	10 10:00~12:00	1	22	フレンズ戸塚	歌、おしゃべり
11	10 10:00~12:00	1	21	フレンズ戸塚	絵画、おしゃべり
12	10 10:00~12:00	1	22	フレンズ戸塚	軽体操、おしゃべり
1	10 10:00~12:00	1	23	フレンズ戸塚	歌、おしゃべり
2	10 10:00~12:00	1	22	フレンズ戸塚	絵画、おしゃべり
3	10 10:00~12:00	1	20	フレンズ戸塚	軽体操、おしゃべり
合計		12	256	【要件未達成の場合】 未達成となった理由をご記入ください。職員にて聞き取りを行い、返還となる場合もあります。	
月平均/ 1回当たりの 人数		1	21.3	【未達成理由】	

※「実施回数」・「参加者」の考え方は区分・事業ごとに以下のカウント方法となります。

<input checked="" type="checkbox"/> 「集いの場」「福祉のまちづくり区分」「健康増進区分」	➡	年間回数と1回あたりの参加者・利用者
<input type="checkbox"/> 「配食」「障害児者支援活動・当事者活動」	➡	1回あたりの参加者数・利用者数
<input type="checkbox"/> 「家事生活支援事業」	➡	年間回数（訪問者数）
<input type="checkbox"/> 「送迎」	➡	年間回数（送迎回数）
<input type="checkbox"/> 「障害児者宿泊・日帰りバスハイク事業」	➡	1回の参加者数
<input type="checkbox"/> 「視覚・聴覚障害者支援事業」	➡	年間の利用者数総数

団体名：戸塚グループ

■今年度の活動を振り返って

「サロンに参加するための外出を楽しみにしている」という声を多く頂いており、ボランティアの皆さんもやりがいを感じながら活動に取り組むことができます。

おしゃべりの前に行く、歌・絵画・軽体操についても講師の方がスムーズに進行してくださるので、とても好評です。

■今後の課題

ボランティアが高齢なので、少しずつサロンの運営・企画に携わってくださるボランティアを増やじていき、次世代のリーダーを育てていく必要があると感じています。

■事業の周知について(今年度どのように活動を周知したか教えてください)

ボランティアセンターや地域ケアプラザの広報紙へ記事を掲載させて頂いたり、地域の掲示板と回覧板、口コミ等で周知を行いました。

■他団体との連携について(活動にあたり他団体とどのように連携したか教えてください)

年1回地区社協が主催で、地区内にあるサロンのボランティアを集めて情報交換や交流をする場があるので、そこで他サロンの取り組みや工夫している点等を伺い、こちらでも良い点を取り入れるようにしています。

■ふれあい助成金は寄付金が財源となっています。寄付者へのメッセージをご記入ください

私達のようなサロン活動の継続には、ふれあい助成金が必要不可欠なので、本当に有難いです。地域の中で皆さんが笑顔になるような取り組みを今後も一生懸命考えていきたいと思っています。本当にありがとうございます。

■活動の様子(写真やチラシなど)添付してください(スペースが足りない場合は、別紙を添付してください)

写 真

